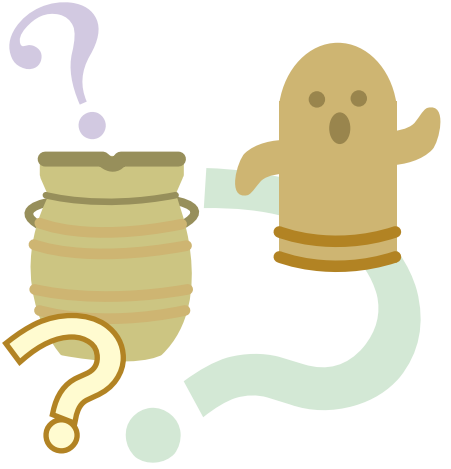


ひらつか いせき 「平塚の遺跡」

知ってる？



豆記者：御手洗拓真・高岡由梨子・高岡真梨子

わたしたちは、平塚市博物館へ取材に行き、学芸員の明石さんにお話を聞きました。

平塚市の遺跡は全部で約三百か所、奈良時代と平安時代のものが多そうです。そのうち山と台地に四割、平野に六割あります。発掘された遺跡の中で最も古いものは、一万八千年から二万年前の上吉沢にある「原口遺跡」です。この遺跡からは



実際に出土品を見学

み、米づくり中心の生活を始めました。

現在、発掘中の遺跡は、「真田北金目遺跡」と「湘南新道関連遺跡」の二か所です。どのような物が発掘

狩猟などに使っていた道具が発掘されました。遺跡には、「遺構」と「遺物」があって、遺構は人が住んでいた跡などで、遺物は人が使っていた道具などです。

現在の平塚市の平野は、五千年以上前は海でした。その後、海面が下がっていった平野ができました。今から約二千年前、朝鮮半島などから「米づくり」が伝わり、平野にも人々が住



原口遺跡から発掘された遺物

わたしたちは、遺跡のことをいろいろ知ることができて、とても勉強になりました。みなさんも、ぜひ「遺跡」について調べてみませんか。

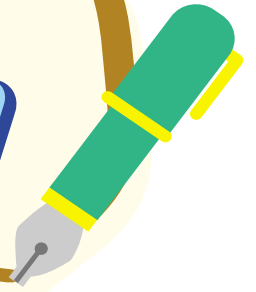
されるか楽しみですね。遺跡と聞くとちょっと難しくそうですが、わたしたちが使っているものが、一千年後、二千年後に遺跡として発掘されるかもしれません。



遺跡っていっぱいあるんですね

パイロット工場の

ココがすごい!



豆記者：高岡由梨子・高岡真梨子



八月六日、わたしたちは「パイロット平塚工場」へ取材に行きました。

「株式会社パイロット」は、一九八一年に「株式会社並木製作所」として設立されました。その後、創業者が商船学校出身なので「水先案内人」を表す「パイロット」

にしたそうです。平塚工場は一九四八年にできました。工場は、国内だけで五か所あり、平塚工場では、主に高級な万年筆などを作っています。従業員数は約五百人。万年筆だけでも百種類以上作っています。一か月に五百万本も作っているポ

ールペンもあれば、一本作るのに三か月もかかる万年筆もあります。

紹介します。まず合金をペン先の形に打ち抜き、万年筆で一番大切な先端のペンポイントを溶接します。次にマークを刻印し、ペンポイントを研いで丸めます。カッターで先端を切り、あとはペンしんや筒の部品を組み立て、仕上げ磨きをすれば完成です。

指輪やネックレスも作っているんですね

仕事で苦労することは、細かい作業が多いことだそうです。でも、「パイロットの筆記具は、書きやすい」と言われると、そんな苦労も忘れてしまうほどうれしそうです。



万年筆の部品で、たくさんあるんだなー

わたしたちが、普段何気なく使っているペンが、こんなにたくさん人の手で作られていたとは想像もできませんでした。

みなさん、筆記具は大切に使いましょうね。